

あいさつが飛び交う社会に

三春町立三春小学校 六年 伊藤 百花

「おはようございます。」

私は、毎朝明るくあいさつをして登校しています。友達や地域の人にあいさつをすると心が明るくなり「今日もがんばろう」と思います。でも、私が声かけてもあいさつを返してくれる人と返してくれない人がいます。あいさつを返してくれない人には二通りいて、イヤホンをしていたりスマホを見たりしている人と、あいさつが大切だと思っていない人です。

イヤホンをして音楽をきいている人や、スマホを見ながら歩いている人は、私が一年生の時に比べて増えているように感じます。好きな音楽をきいたり、スマホでゲームをするのは楽しくて私も好きです。でも、それであいさつができなくなるのは悲しいことだと思います。あいさつをされたことに気がつかないくらい大きな音で音楽をきいたり、歩きながらスマホをそうさしたりすることはとても危険なことです。歩く時はイヤホンやスマホを使わないであいさつをしてほしいです。

あいさつが大切だと思っていない人は、あいさつの良さを知らないのではないかと思います。私が思うあいさつの良さとは、相手とコミュニケーションをとることができることや、自分も相手も気分が良くなることなどたくさんさんの良い所があります。私は良い所がたくさんあるあいさつを広めるために三春小学校の交通少年団に入っています。その交通少年団では、登校してくる子や地域の方々にあいさつをしたり、プラカードを持って運転をしている人に交通安全を呼びかけたりする活動をしています。その活動をしている時もあいさつを返さない子もたくさんいます。たくさんさんの人が返してくれないので私はあいさつを返してほしいという思いがより一層強くなりました。

いつもの登校でのあいさつや交通少年団での活動を通して、あいさつのもつ人の気持ちを明るくする力を知り、社会を明るくするためにはあいさつが必要だと感じました。町中にあいさつが飛び交うような明るい社会にするために、私は三つのことをがんばりたいと思います。

一つ目は、交通少年団の活動です。朝のあいさつ活動ではいまままで以上に明るい声で一人一人にあいさつの良さが伝わるように声をかけていきたいです。

二つ目は、一人でも自分からあいさつをすることです。地域の人にあいさつをするのは少しきんちようするけれどこれからは、明るく笑顔であいさつしていきたいです。

三つ目は、低学年の子にあいさつの良さを教えることです。自分がお手本とな
ってあいさつの仕方を教えていきたいです。

自分が中心となってあいさつをすることであいさつの輪を広げていき、町中に
あいさつが飛び交うような明るい社会にしていきたいと思います。